

このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。
どうぞ、コーヒータイムのときにも、お読み下さい。

ことばのコラム ひとくちメモ (266)

順に読む

喫茶店でタモツ君のおばあさんがかつての教え子のタカコさんと話しています。

「まず、その「含む次の者」‘those who’ は、‘have’ 「もっている」というの。何をもっているかという、「長期的な身体的、精神的、知的又は感覚的な機能障害」で、その「機能障害」は、「様々な障壁との相互作用により他の者との平等を基礎として社会に完全かつ効果的に参加することを妨げ得るもの」だというのね。」

「その ‘may hinder’ 「妨げ得る」というのは、社会参加が妨げられるのですから、「妨げることができる」というのではありませんよね。」

「そう。「できる」というと、なにかよいことがおこるように感じられるから、ニュアンスとしては、「妨げるかもしれない」というのでしょね。」

「説明をうかがっても、すっとは、わからない文ですね。」

「妨げ得る」の解釈

- × 妨げることができる
- 妨げるかもしれない

ここでの “may” は 「…することがある」「…かもしれない」という、可能性の意味ですね。